

「科学技術への顕著な貢献2008
(ナイスステップな研究者)」に選定



嶋田雅暁教授

熱帯医学研究所環境医学部門生態疫学分野の嶋田雅暁教授は、ケアを拠点として感染症対策にかかわる国際研究交流を推進したとして、12月25日、文部科学省科学技術政策研究所(NISTEP)の「ナイスステップな研究者」(プロジェクト・国際研究交流部門)に選定されました。

「ナイスステップな研究者」は、文部科学省科学技術政策研究所が平成17年より、科学技術に関する顕著な業績の中から、特に科学技術政策上注目すべき業績を上げた方々を選定しているものです。

なお、科学技術政策研究所ホームページ <http://www.nistep.go.jp/index-j.html> にプレス発表資料が掲載されています。



ケニアで活動中の嶋田教授

NISTEP (National Institute of Science and Technology Policy)

「エコポスター2008」表彰式

1月26日、学長室において環境委員会が学内公募・本学の児童・生徒・学生及び教職員が対象とした環境対策等啓発キャンペーンポスター「エコポスター2008」の優秀作品表彰式を挙行了しました。応募作品総数は、「ウォーム・ピズ部門」「クール・ピズ部門」「CO₂削減・温暖化防止部門」の3部門合わせて、234点。

審査の結果、最優秀賞は、「ウォーム・ピズ部門」が教育学部附属小学校5年菅野いさなさんの作品、「クール・ピズ部門」が同小2年山口諒一郎君の作品、「CO₂削減・温暖化防止部門」が同小4年新屋京平君の作品が選ばれました。



受賞者との記念撮影



表彰式では、田井村環境委員会委員長、演理事 嘉松附属小学校副校長、古野同小教頭及び保護者らの列席のもと、片峰学長から受賞者へ賞状及び副賞が授与されました。

片峰学長から「環境問題について想像することは大事。皆さんもいろんなことを想像し、夢を持ち続けよう」と祝辞があり、「エコポスター2008大賞」の新屋君は、「地球温暖化を人々の力で無くして行こう」と思ったと作品への思いを述べるなど、希望にあふれる受賞者の声が聞かれました。

第33回
長崎大学駅伝大会を実施

1月24日、文教キャンパス内において今年で33回目となる毎年恒例の長崎大学駅伝大会を実施し、雪が舞う寒空の下、男女合わせて63名の学生が参加しました。

男子の部(1・5キロ×7人)
・優勝 医学部陸上部 準優勝 水泳部
女子の部(1・5キロ×5人)
・優勝 医学部陸上部 準優勝 水泳部



男女とも優勝の医学部陸上部

学内合同企業説明会を開催

2010年春卒業及び修了予定者を対象とした学内合同企業説明会を、補助体育館において、1月23日、24日、2月19日、20日に開催しました。

厳しい就職状況が続く中、より多くの企業の採用情報を直接、人事担当者から聞くことができる場として設けたもので、4日間で220社もの企業にブースを設置していただきました。

訪れた学生は721人。スーツを身にまとい、参加企業のデータなどを記載した冊子を片手に各企業のブースを熱心に回りました。今後の進路を考えるうえで、たいへん有意義な時間を過ごしたようです。



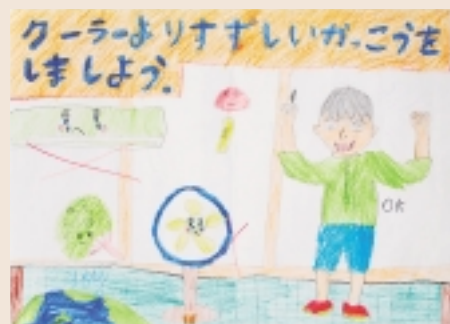
企業説明会の様子



ウォーム・ピズ部門最優秀賞



CO₂削減・温暖化防止部門最優秀賞



クール・ピズ部門最優秀賞

前号(第26号)の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

2ページ本文下段および写真
誤「安永俊五教授」正「安永峻五教授」
2ページ下段
誤「江上不二男先生」正「江上不二夫先生」
6ページ地図中の国名
誤「コロンビア」正「セルビア」および「モンテネグロ」